番号	-		令和 5 年度 公共事業再評価調書 <u>担当課名 治山林</u>							様式 2 治山林道課		
事	業	名	道整備推進交付金事業 林道中沢落合線						事業主体 静 岡 市			
箇	所	名	名 静岡市葵区 落合、桂山 地内									
事業:	事業採択年度		平成20年度	計画期間		平成20	平成20年度 ~ 令和9年度					
用地着手年度		年度	_	工事着手年度		平成20年度						
再評価理由※		由※	前回の再評価から(平成30年度) 5 年が経過した継続中の事業であるため。									
全体事業費		<b>美費</b>	百万円 582	1人人がルー		3年度 R4年 91 3				度見込 0	計 422	
				(日ガロ)	0,	71		1	'	<u> </u>	422	
事		業 当該林道は、一級河川安倍川支流安倍中河内川の落合地区に位置する森林管理道である利用区域では木と木の間を開けるために間引くこと(間伐等)が必要な4~10齢級の人約46%、木を切る時期(伐期)に達した11齢級以上の人工林が46%を占めている森林であ網整備を必要とされる森林が残っている。当該路線を基軸とした林内路網を整備し、低二業の確立を図り、森林整備を促進する。  (2)事業内容森林管理道 自動車道2級林道 計画延長:3,121m、道路幅員:4.0m、利用区域面積:								齢級の人工林が 森林であり、路 し、低コスト林		
概		要	森林管理道 自	<b>I動車道2級林</b> 道	道 計画郊	延長:3,12	21m、道	<b>道路幅員</b> :	4.0m、	利用区域	域面積:128ha   	
【視	点	1 ]	(1)事業を巡る社:	会情勢等の変化	;							
事必	業要	の性	万㎡(毎年)を目る。 木材価格の低 られていることか (2)事業の投資効 ・費用対効果分 費用対効果分 機等 (3)事業の進捗状	標に掲げ、豊富 迷により、機械の という、登開対効果 が結果 を指数:B/C を登載:C を登載:C	な森林資源 比等による。 整備への記 分析結果	京を低コス 森林管理: 京 京 京 京 京 京 京 5 4 8 5 4 6 9 0 6 9 0 6 9 0 6 9 0 0 9 0 9 0 0 9 0 0 0 0	トで安定 コストの まって及 で 度 万万円	的に利用 更なる効率 る。 バその他フ	できる体 を化及び アピール 平成30年 1.33 700百	制の構築 作業員の すべきの 手度(前) 5万円	回)	
			・進捗率 事業費 事業量	費(百万円) ₫(m)		令和5年 422/58 2,161/3,	32 =	72.5%	1	363/490	年度(前回) ) =74.1% 700 =66.9%	
F 1-			評価	(継続が妥当	· 視	点3による	見直し後	後継続が妥	· 当 ·	継続は妥	当ではない	
【視点2】 今後の 事業の進		の 進捗								)		
	見込		評価	継続が妥当		点3による					当ではない	
新た ト統 替案	:な= 減・ ご立案	・切土量及び盛土量のバランスに留意し、発生土を活用した補強土壁工及び構成 L 型擁壁工 採用することで、工事コストの縮減に努める。 ・丸太柵工を積極的に採用し、土砂流出の防止による林道維持管理コストを縮減するととも 或・代 間伐材の利用促進に努める。 立案等 能性										
対応	方釒	計案	(1)対応方針案 本事業を 継続・中止)する。 (2)理由 当該林道の整備は、持続的な林業経営に向けた効率的かつ安定的な低コスト林業の確立に不可 欠であり、森林資源を活用した産業振興及び地域活性化に対する地元の期待が高いことから事業 継続は妥当と考える。									